

植物工場のスプレッド

## グルタチオンでレタス栽培

JXエネルギーなどと共同研究

スプレッド（稲田信二社長、京都市下京区）、JXエネルギー（杉森務社長、東京都千代田区）、岡山県農林水産総合センタ―生物科学研究所（以下

RIBS）は、人工光型植物工場におけるグルタチオンを利用した栽培技術検討に関する共同研究契約を締結した。グルタチオンは3つの

アミノ酸が結合した物質

で、植物の光合成を活性化する作用がある一方、投与量や期間によって効果が変化する。RIBSによるこれまでの研究において、効果的な使用によりジャガイモなどの露地栽培の収穫量を最大40%増加させることに成

功している。

今回の研究では、人工光型植物工場における最適な投与方法とその経済性の検証を行う。RIBSは投与量、期間に応じたレタスの生育速度や栽培期間に関する検討を実施。スプレッドはその初期検討結果をもとに、ス

プレッド亀岡プラントの栽培設備でグルタチオンをレタス栽培の肥料として投与。JXエネルギーが生育結果により得られた実証データの分析および経済性の評価、知見の提供を行う。研究期間は先月から1年間を予定。